

**憧**れの選手が目の前に—ラグビー世界最高峰リーグ「スーパーラグビー」に参戦する「サンウルブズ」が1月28日～2月2日の6日間、別府でシーズン開幕前の第1次合宿を行いました。合宿初日はファンとの交流イベントも行われ、ラグビースクールの子もたちとラインアウトなどのプレーをしたり、サインや写真撮影に応じたりと会場は大盛り上がり。合宿期間中、選手は別府の温泉で身体をリカバリーしながら、激しいフィジカルトレーニング、攻守の連携確認などのメニューをこなしました。



**グ**ローバル体験を財産に—2月10日から18日まで姉妹都市であるイギリス・バース市とニュージーランド・ロトルア市の高校生を招き、ラグビーを通じた国際交流を行いました。交流試合では、お互いのプライドを懸けた熱戦を展開。また、滞在期間中はもちつきや竹細工制作体験をしたり、ラグビーワールドカップの試合会場である大分銀行ドームを見学したりと有意義な時間を過ごしていました。



**民**間の稼ぐ力との連携—2月1日、民間事業者と行政の連携を進めるための情報・意見交換の場として「第1回べっふ公民連携LABO」が開催されました。公共空間の利活用についての講演やパネルディスカッションが行われ、会場を埋め尽くした約200人の参加者は熱心に耳を傾けていました。



**竹**細工の可能性—1月30日～2月12日の間、「第54回くらしの中の竹工芸展」が別府市竹細工伝統産業会館で開催されました。生活に潤いを与える「実用性」と「造形美」を兼ね備えた作品143点が展示され、最高賞の県知事賞には谷村政治さんの作品「藁 春夏秋冬」が選ばれました。

## 災害時の態勢をより強固

に—2月5日、別府市と大分県石油商業組合別府支部は、災害時における石油類燃料の供給等の協力に関する協定を結びました。地震や風水害などの災害が発生した際、緊急車両や公用車などへの給油や被災者の一時避難について組合員給油所と連携し、迅速に災害対応できるように備えます。



## 火の用心—

1月14日、消防出初式がスパビーチで開催されました。寒空の下、消防職員・団員合わせて500人以上がキビキビとした分列行進を披露。そして、火災予防運動での活躍が期待される「女性分団ラッパ隊」がお披露目されました。式の最後はラッパ隊の合図で全分団による一斉放水。会場からは大きな歓声が上がりました。

